

連盟会報

発行日：2014年(平成26年)10月20日

◆第35号◆(P-1)

発行：NPO法人 日本抜刀道連盟
企画・構成・編集：広報部
…事務局…

〒212-0012 川崎市幸区中幸町 1-17
☎：044-555-8660 FAX：044-223-7544

剣の聖地 高段者審査◆称号審査の実施

◆審査委員◆

審査員 金子 翼
副委員長 中世古 勝司
委員 長 大 江 正 正 文
査査員 員 大 中 太 夫
査査員 員 太 夫

下記【審査員(左)から】

範士 遠藤 仁(山形支部)
教士 平岡 茂範(讃岐支部)
錬士 藤本 嗣(讃岐支部)
錬士 境 泰雅(高知支部)
錬士 松浦 健成(忠勇会)

： 合格者(称号 審査) :

八段 糸澤 良全(鎌倉支部)
八段 桶田 正信(英信館)
八段 菅野 茂(千葉支部)
七段 今村 文彦(高知支部)
七段 藤田 久男(剣誠会)
六段 堀内 城夫(土成会)

： 合格者(高段者審査) :

六段…二名、七段…二名、八段…四名。
◆称号審査 受審者◆
錬士…二名、教士…一名、範士…一名。

連盟全国大会前日の十月四日(土曜日)同じく本部道場・鹿島神武殿で、高段者審査と称号審査が行われた。



◆武道の殿堂◆

一般財団法人

…鹿島神武殿…

◆本部道場の紹介◆

鹿島神武殿は、日本有数の総合武道施設として昭和五十三年に竣工。日本全国の小・中・高校・大学の武道クラブ、また社会人の武道錬成者の修練道場として役割を果たし、青少年の健全育成と共に次代を継ぐ幾多の人材を輩出し、貴い足跡を残しつつ現在に至っている…。

武徳振興財団として歩み続ける、一般財団法人 鹿島神武殿の初代館長は、現在理事長の剣道範士 中村鶴治先生であり、武道と事業を両立させ、次代を継ぐ青少年の育成に心血を凝らしつつ、同時に日本の実業界では知名度の高い、武道哲学を実践する等しい大物の実業家でもあります。道場の館則は《敬神・誠心・礼節・精進・日常の五則》であり、道場の修業は、日常の生活を根幹となす…、日常を離れて、道場なしとの哲理をもつて現在、早大剣道部出身 剣道錬士六段 深牧 正誼 支配人は神武殿を守りつつ、地元の青少年の健全育成に孤軍奮闘している…。

(連盟本部 広報部)

- ↑ ※ 高段者審査 制定刀法《形の部》審査。
- ※ 神武殿を守り、剣の道を通じ、次代を継ぐ青少年の健全育成に、孤軍奮闘する 深牧正誼 支配人。⇒
- ↓ ※ 鹿島神武殿初代館長・現理事長 中村鶴治先生 胸像 (NPO法人 日本抜刀道連盟 最高顧問)

